

四半期報告書

(第38期第1四半期)

自 平成21年5月1日

至 平成21年7月31日

株式会社ロック・フィールド

神戸市東灘区魚崎浜町15番地2

(E00482)

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2
3 関係会社の状況	2
4 従業員の状況	2

第2 事業の状況

1 生産、受注及び販売の状況	3
2 事業等のリスク	4
3 経営上の重要な契約等	4
4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	5

第3 設備の状況

第4 提出会社の状況

1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	8
(2) 新株予約権等の状況	8
(3) ライツプランの内容	8
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	8
(5) 大株主の状況	8
(6) 議決権の状況	9

2 株価の推移

3 役員の状況

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	11
(2) 四半期連結損益計算書	13
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	14

2 その他

第二部 提出会社の保証会社等の情報

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年9月14日
【四半期会計期間】	第38期第1四半期（自平成21年5月1日至平成21年7月31日）
【会社名】	株式会社ロック・フィールド
【英訳名】	ROCK FIELD CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 岩田 弘三
【本店の所在の場所】	神戸市東灘区魚崎浜町15番地2
【電話番号】	(代表) (078) 435-2800
【事務連絡者氏名】	経理グループマネージャー 伊澤 修
【最寄りの連絡場所】	神戸市東灘区魚崎浜町15番地2
【電話番号】	(代表) (078) 435-2800
【事務連絡者氏名】	経理グループマネージャー 伊澤 修
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第37期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第38期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第37期
会計期間	自平成20年5月1日 至平成20年7月31日	自平成21年5月1日 至平成21年7月31日	自平成20年5月1日 至平成21年4月30日
売上高(百万円)	11,773	11,197	47,243
経常利益(百万円)	377	434	1,875
四半期(当期)純利益(百万円)	184	215	1,063
純資産額(百万円)	19,956	20,451	20,521
総資産額(百万円)	24,880	25,917	26,351
1株当たり純資産額(円)	1,502.59	1,539.86	1,545.17
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	13.92	16.20	80.11
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	—	—	—
自己資本比率(%)	80.2	78.9	77.9
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	△19	383	2,385
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	△252	△115	△2,153
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	△459	△505	△132
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(百万円)	5,328	5,918	6,156
従業員数(人)	1,314	1,372	1,397

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等を含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び連結子会社1社）が営んでいる事業内容に重要な変更はありません。

3 【関係会社の状況】

当第1四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年7月31日現在

従業員数（人）	1,372（2,746）
---------	--------------

（注） 従業員数は就業人数であり、臨時雇用者数（パートタイマー、アルバイト）は当第1四半期連結会計期間の平均雇用人員（8時間換算）を（ ）内に外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成21年7月31日現在

従業員数（人）	1,371（2,746）
---------	--------------

（注） 従業員数は就業人数であり、臨時雇用者数（パートタイマー、アルバイト）は当第1四半期会計期間の平均雇用人員（8時間換算）を（ ）内に外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第1四半期連結会計期間の生産実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

なお、同一製品が複数業態で販売されるため、業態別の生産実績は記載しておりません。

製品別	生産高（百万円）	前年同四半期比（%）
サラダ	5,179	96.4
神戸コロッケ	1,058	99.3
フライ	2,164	94.7
デイリーそうざい	2,377	118.2
路面店そうざい	343	60.9
ベジテリア	605	88.1
合計	11,729	97.4

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当社グループでは見込み生産を行っておりますので該当事項はありません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結会計期間の販売実績を事業の業態別に示すと、次のとおりであります。

業態別		販売高（百万円）	前年同四半期比（%）
RF1	サラダ	4,831	99.1
	フライ	1,594	76.2
	その他そうざい	2,104	124.2
	小計	8,530	98.5
神戸コロッケ		989	95.3
いとはん・三日坊主		478	106.4
RF1 Asia・融合		267	95.8
そうざいや	そうざい	271	58.2
地球健康家族	弁当・米飯	140	66.0
小計		411	60.7
ベジテリア		471	89.6
その他		48	55.2
合計		11,197	95.1

(注) 1. 前第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結会計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成20年7月31日)		当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)	
	金額（百万円）	割合（%）	金額（百万円）	割合（%）
(株)高島屋	1,380	11.72	1,278	11.42

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業等のリスク】

当第1四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第1四半期連結会計期間（平成21年5月1日～7月31日）においては、景気底打ち宣言等、一部には景気回復の兆しもあるものの、昨年来の経済危機により悪化した企業業績や雇用の本格的な回復には遠く、企業の設備投資の抑制や個人消費の低迷はまだ続く状況にあります。

食品業界におきましては、原材料価格、石油価格は落ち着きを取り戻したものの雇用・所得環境の悪化を背景にした個人消費の減退や生活者・小売業界からの商品の低価格化要請等もあり、経営環境は大変厳しいものとなりました。

このような状況のもと、当社グループは、食の安全・安心の取り組みの更なる強化とお客様のニーズに対応した高品質・高付加価値商品の開発、提供、サービス向上の取り組みを行ってまいりました。計画購買による原材料の安定的な確保や生産性の向上による粗利益の改善、全社を挙げて取り組んでいる業務カイゼン・改革、業務の効率化等を通して経費削減を行い、収益の向上を実現し、経営基盤の強化を継続的に取り組んでおります。

主なブランド別の概況は次のとおりであります。

「RF1」ブランドにおきましては、定番商品の品質向上に継続して取り組み、安心・安全を求めのお客様の信頼に応えられるよう新商品の開発を行ってまいりました。また、当社の強みである対面販売によるサラダの販売強化や他ブランドの商品を用いた商品ミックスの提案等、お客様の多様なニーズにお応えしてまいりました。その結果、売上高は8,530百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

「神戸コロッケ」ブランドにおきましては、平成元年の第1号店オープンから20年を迎え、コロッケ専門店として、お客様に継続してご愛顧をいただけるよう品揃えを行いました。「神戸コロッケ」出店20周年を記念した「アニバーサリーコロッケ」シリーズやおつまみ等として利用していただける「ミニコロッケ」シリーズ等の新商品シリーズを提案し、売上高は989百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

「ベジテリア」ブランドにおきましては、「緑の健康バランス30品目」等の野菜系のジュースや「いちごとシュガートマト」等、野菜の素材の力とフルーツを組み合わせたジュースや「夏のビタミンスペシャル」等、健康訴求ジュース商品の開発を行いました。また、「じゃがいもの冷製スープ」等、夏向けのスープの提案を行い、売上高は471百万円（前年同期比10.4%減）となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間における業績は、売上高は11,197百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益は424百万円（前年同期比15.7%増）、経常利益は434百万円（前年同期比15.2%増）、四半期純利益は215百万円（前年同期比16.3%増）となりました。

(2)財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における総資産については、前連結会計年度末に比べて433百万円減少し25,917百万円となりました。これは、現金及び預金が217百万円減少したこと、有形固定資産が減価償却等により102百万円減少したことによるものであります。

一方、負債においては、長期借入金（1年内返済予定長期借入金を含む）の返済や賞与引当金、未払法人税等が減少したこと等により前連結会計年度末に比べて363百万円減少し、負債合計は5,466百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて70百万円減少し20,451百万円となりました。自己資本比率は78.9%、1株当たり純資産は1,539円86銭となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて237百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末には5,918百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、383百万円（前年同期は19百万円の使用）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益が426百万円（前年同期比67百万円の増加）と増加したこと、売上債権の増加が128百万円（前年同期比26百万円の増加）であったこと、法人税等の支払額が353百万円（前年同期比268百万円の減少）であったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は115百万円（前年同期比136百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が91百万円（前年同期比74百万円の減少）となったこと、長期前払費用の取得による支出が20百万円（前年同期比40百万円の減少）であったこと、差入保証金の回収が54百万円（前年同期比50百万円の増加）であったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、505百万円（前年同期比45百万円の増加）となりました。これは、主に長期借入金の約定弁済197百万円、配当金の支払額292百万円等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第1四半期連結会計期間における当社グループの研究開発活動の金額は47百万円であります。なお、当第1四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第1四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第1四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

②【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成21年7月31日)	提出日現在発行数(株) (平成21年9月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	13,394,374	13,394,374	東京証券取引所 大阪証券取引所 各市場第一部	単元株式数 100株
計	13,394,374	13,394,374	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成21年5月1日～ 平成21年7月31日	—	13,394,374	—	5,544	—	5,861

(5)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第1四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成21年4月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成21年7月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 113,000	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 13,270,100	132,701	—
単元未満株式	普通株式 11,274	—	—
発行済株式総数	13,394,374	—	—
総株主の議決権	—	132,701	—

（注）「完全議決権株式（その他）」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が、1,400株（議決権14個）含まれております。

② 【自己株式等】

平成21年7月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
株式会社 ロック・フィールド	神戸市東灘区魚崎浜 町15番地2	113,000	—	113,000	0.84
計	—	113,000	—	113,000	0.84

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 5月	6月	7月
最高（円）	1,195	1,250	1,210
最低（円）	1,152	1,180	1,172

（注）最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3 【役員】の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

第5【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第1四半期連結累計期間（平成20年5月1日から平成20年7月31日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成21年5月1日から平成21年7月31日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成21年5月1日から平成21年7月31日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結累計期間（平成20年5月1日から平成20年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表については監査法人トーマツによる四半期レビューを受け、また、当第1四半期連結会計期間（平成21年5月1日から平成21年7月31日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成21年5月1日から平成21年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表については有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、監査法人トーマツは、監査法人の種類の変更により、平成21年7月1日をもって有限責任監査法人トーマツとなっております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,038	6,256
売掛金	3,353	3,225
製品	61	56
仕掛品	52	56
原材料及び貯蔵品	139	167
その他	326	550
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	9,969	10,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,892	8,987
機械装置及び運搬具（純額）	571	598
土地	3,003	3,003
建設仮勘定	4	2
その他（純額）	788	769
有形固定資産合計	※ 13,259	※ 13,361
無形固定資産		
	249	245
投資その他の資産		
投資有価証券	370	350
差入保証金	533	534
長期預金	900	900
繰延税金資産	103	108
その他	539	548
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	2,439	2,433
固定資産合計	15,947	16,040
資産合計	25,917	26,351

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,182	1,137
1年内返済予定の長期借入金	583	673
未払法人税等	58	392
賞与引当金	243	539
その他	2,125	1,732
流動負債合計	4,192	4,474
固定負債		
長期借入金	1,094	1,201
その他	179	152
固定負債合計	1,273	1,354
負債合計	5,466	5,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,544	5,544
資本剰余金	5,861	5,861
利益剰余金	9,268	9,345
自己株式	△208	△208
株主資本合計	20,465	20,542
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△13	△20
評価・換算差額等合計	△13	△20
純資産合計	20,451	20,521
負債純資産合計	25,917	26,351

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成20年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)
売上高	11,773	11,197
売上原価	5,203	4,832
売上総利益	6,569	6,365
販売費及び一般管理費	※1 6,202	※1 5,940
営業利益	366	424
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	2	1
保険配当金	7	9
その他	5	4
営業外収益合計	16	16
営業外費用		
支払利息	4	5
その他	0	0
営業外費用合計	5	5
経常利益	377	434
特別損失		
固定資産除却損	17	7
特別損失合計	17	7
税金等調整前四半期純利益	359	426
法人税等	※2 174	※2 211
四半期純利益	184	215

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成20年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	359	426
減価償却費	343	340
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△289	△296
受取利息及び受取配当金	△3	△3
支払利息	4	5
固定資産除却損	17	7
売上債権の増減額 (△は増加)	△101	△128
たな卸資産の増減額 (△は増加)	25	27
仕入債務の増減額 (△は減少)	72	45
その他	173	310
小計	602	737
利息及び配当金の受取額	3	3
利息の支払額	△4	△5
法人税等の支払額	△621	△353
営業活動によるキャッシュ・フロー	△19	383
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20	△20
有形固定資産の取得による支出	△166	△91
有形固定資産の売却による収入	20	1
無形固定資産の取得による支出	△9	△31
長期前払費用の取得による支出	△61	△20
投資有価証券の取得による支出	△14	△6
差入保証金の回収による収入	4	54
差入保証金の差入による支出	△7	△2
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△252	△115
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△165	△197
リース債務の返済による支出	△2	△15
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△292	△292
財務活動によるキャッシュ・フロー	△459	△505
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△729	△237
現金及び現金同等物の期首残高	6,058	6,156
現金及び現金同等物の四半期末残高	* 5,328	* 5,918

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

該当事項はありません。

【簡便な会計処理】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年7月31日)	前連結会計年度末 (平成21年4月30日)
※ 有形固定資産の減価償却累計額は、11,601百万円であります。	※ 有形固定資産の減価償却累計額は、10,340百万円であります。

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成20年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年7月31日)
※ 1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 支払手数料 1,505百万円 給料及び賞与 2,116百万円 賞与引当金繰入 159百万円	※ 1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 支払手数料 1,405百万円 給料及び賞与 2,092百万円 賞与引当金繰入 169百万円
※ 2. 「法人税、住民税及び事業税」と「法人税等調整額」は「法人税等」として一括して記載しております。	※ 2. 「法人税、住民税及び事業税」と「法人税等調整額」は「法人税等」として一括して記載しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成20年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年7月31日)
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年7月31日現在) 現金及び預金勘定 5,448百万円 預入期間が3か月を超える定期預金 △120百万円 現金及び現金同等物 5,328百万円	※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年7月31日現在) 現金及び預金勘定 6,038百万円 預入期間が3か月を超える定期預金 △120百万円 現金及び現金同等物 5,918百万円

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成21年7月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年5月1日至平成21年7月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数
普通株式 13,394,374株
2. 自己株式の種類及び株式数
普通株式 113,077株
3. 配当に関する事項
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年7月29日 定時株主総会	普通株式	292	22	平成21年4月30日	平成21年7月30日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成20年5月1日 至平成20年7月31日）

当社グループは、同一セグメントに属する各種そうざいの製造・販売事業を行っており、当該セグメント以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成21年5月1日 至平成21年7月31日）

当社グループは、同一セグメントに属する各種そうざいの製造・販売事業を行っており、当該セグメント以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成20年5月1日 至平成20年7月31日）

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自平成21年5月1日 至平成21年7月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自平成20年5月1日 至平成20年7月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自平成21年5月1日 至平成21年7月31日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(有価証券関係)

有価証券の当四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年7月31日)	前連結会計年度末 (平成21年4月30日)
1株当たり純資産額 1,539.86円	1株当たり純資産額 1,545.17円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成20年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年7月31日)
1株当たり四半期純利益金額 13.92円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 16.20円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成20年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年7月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(百万円)	184	215
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	184	215
期中平均株式数(千株)	13,281	13,281

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年9月8日

株式会社ロック・フィールド

取締役会 御中

監査法人 トーマツ

指定社員
業務執行社員 公認会計士 辻内 章 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 伊東 昌一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ロック・フィールドの平成20年5月1日から平成21年4月30日までの連結会計年度の第1四半期連結累計期間（平成20年5月1日から平成20年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ロック・フィールド及び連結子会社の平成20年7月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年9月3日

株式会社ロック・フィールド

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

辻内 章

印

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

伊東 昌一

印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ロック・フィールドの平成21年5月1日から平成22年4月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成21年5月1日から平成21年7月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成21年5月1日から平成21年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ロック・フィールド及び連結子会社の平成21年7月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。